

## 報告会 説明内容

### 1. 令和4年の台風第15号による被害状況の説明

川根温泉笹間渡駅～千頭駅間の被災箇所数24ヵ所

### 2. 大井川鐵道が全線復旧することによる経済波及効果

全線開通時（コロナ禍前年度の平成30年度）と一部不通時の現状（令和5年度）の観光客数の比較により算出

川根本町においては、年間5億3200万円の経済波及効果と、宿泊客と日帰り客合わせて6.4万人の観光客が見込まれる

### 3. 運行再開に必要な費用・期間

・災害復旧工事（台風第15号により被災した箇所）費用 **4.8億円**

| 基本支援       |                                      | 追加支援       |                                      |
|------------|--------------------------------------|------------|--------------------------------------|
| 国1/4       | 地方1/4                                | 鉄道事業者1/2   |                                      |
| 補助         | 補助                                   | 補助         |                                      |
|            |                                      | 1/2        | 1/2                                  |
| 国<br>1.2億円 | 沿線市町1.2億円<br>（島田市0.1億円）<br>川根本町1.1億円 | 県<br>1.2億円 | 沿線市町1.2億円<br>（島田市0.1億円）<br>川根本町1.1億円 |

・機能回復工事（安全運行に必要なトンネル等の整備）費用 **16.2億円**

| 基本支援       |            | 追加支援       |                                              |
|------------|------------|------------|----------------------------------------------|
| 国1/3       | 地方1/3      | 鉄道事業者1/3   |                                              |
| 補助         | 補助         | 貸付         | 貸付＋補助                                        |
|            |            | 1/2        | 1/2                                          |
| 国<br>5.4億円 | 県<br>5.4億円 | 県<br>2.7億円 | 沿線市町2.7億円<br>（島田市0.9億円（貸付））<br>川根本町1.8億円（補助） |

・運行再開にかかる期間 約4年間

### 4. 費用負担の考え方

本町の負担額 災害復旧工事：基本支援 1.1億円、追加支援 1.1億円

機能回復工事：基本支援 負担なし、追加支援 1.8億円

**合計4億円**

### 5. 運行再開に向け検討会で合意した理由

- ・大井川鐵道が地域に不可欠な資源であること
- ・新型コロナウイルスの影響に加えて、台風第15号の被災により大井川鐵道株式会社の経営が悪化していること
- ・沿線地域の復旧への強い思いがあること



今回の報告会では現状や復旧に向けた取り組みについて説明しました。町民の皆さまの貴重なご意見を受け止め、今後も大井川鐵道全線復旧に向けて関係各所と連携しながら取り組んでまいります。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。今後も、復旧の進捗状況や町の取り組みに関する新たな情報を随時お知らせいたします。

## 大井川鐵道全線復旧・復興に向けた町民報告会を開催しました

令和4年に発生した台風第15号により被害を受けた大井川鐵道の全線復旧について、災害規模が大きいため、県や沿線市町、鐵道を所管する国土交通省中部運輸局や中部電力のメンバーからなる「大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会」の中で検討されてきました。そして令和7年3月28日に開催された第4回検討会において、令和10年度中の全線復旧に向けて合意がなされました。これを受け、町民の皆様へ合意内容の説明と、これから復旧に向けて進めていくことを伝えるため、令和7年4月14日から4月23日にかけて、町内5カ所で「大井川鐵道全線復旧・復興に向けた町民報告会」を開催しました。



▲地名～塩郷間の線路の様子



▲下泉～田野口間の線路の様子

### 報告会で出された主な質問

Q：鐵道の復旧は、どこから始めていくのか？

A：川根温泉笹間渡駅から上流に向かって順次開通していく計画で進めていきます。

Q：復旧にあたり、大井川鐵道の負担はないのか？

A：復旧費用（災害復旧・機能回復）の工事費に係る消費税分と、静岡県と島田市が貸付を行う分は大井川鐵道の負担となります。

Q：町は多額の負担をするが、町民へのサービスに影響はないのか？

A：町民サービスになるべく影響が出ないように、基金の活用や、有利な起債を活用し、町の負担が少しでも軽減するよう取り組んでいきます。



▲報告会の様子

Q：町は多額の補助をしてまで、なぜ大井川鐵道を復旧させるのか？

A：賛否両論あることは承知しています。本町だけで全線復旧することはできません。県や島田市も大井川鐵道の重要性について認識し、復旧に向けて一緒に進めていくことが決定しました。大井川鐵道の全線復旧は観光ばかりでなく、公共交通としての役割や町の賑わいづくりに欠かせないものだとして認識しています。また、町は今後4年間で合計4億円を補助していきますが、大井川鐵道が全線復旧した際に町が受ける経済波及効果は1年間で約5億円と推計されています。今後の町の発展の観点からも、大井川鐵道の全線復旧は必要だと考えています。

Q：復旧後、大井川鐵道の本数は増えるのか？

A：復旧後の話になるため現時点では決まっていますが、町民の皆さまが利用しやすくなるよう協議していきます。